

## ウニの放流行事を開催

西原の水産物資源の育成、豊かな海づくりを目指して、ウニ放流行事が9月8日に西原船だまりで開催されました。この事業は、与那原・西原町漁業協同組合西原支部（安里昌男支部長）が主催して行われ、沖縄県栽培漁業センターから取り寄せたバフンウニ2,000匹の稚ウニを船だまり沖で放流しました。



## 2団体が健康づくりの実践優良団体で表彰

健康づくり実践優良団体（者）の表彰式が、9月25日にイオン南風原ショッピングセンターで行われ、西原町から西原町太極拳同好会（小祿良一会長）と東洋コンクリート株式会社（新垣一明代表取締役社長）が表彰されました。結成9年目を迎えた西原町太極拳同好会は、健康維持や技術向上に向けた取組、各地域のミニデイサービス（介護予防事業）へのボランティア講師の協力などが評価されました。

東洋コンクリート株式会社は従業員の健診受診率が100%となっており、会社からのがん検診受診の助成、健康に関する掲示板を事業所内に設置するなどの活動が評価されました。



## 畜産の生産振興を！母牛の品評会を開催～西原町畜産共進会～

西原町の畜産振興の強化を図り、家畜の改良増殖、畜産経営の発展や生産振興を目的に、平成25年度西原町畜産共進会（同実行委員会主催）が、9月13日に東崎都市緑地（イルカ公園）で開催されました。

今年の畜産共進会は35頭が出品され、専門家が体型や体格、肉付きなどの発育状況を審査しました。審査の結果、園田三郎さん（字小波津）の出品した「よしみ」号が西原町長賞を受賞したほか、各部門の賞が決定しました。（各賞の受賞者は右の表のとおり）

また、町内の幼稚園や保育園の園児が訪れ、畜産共進会を見学しました。園児たちは、自分の背丈よりも大きな牛が何頭も並ぶ光景に驚きの表情を見せていました。



褒章	出品者	名号	部門
西原町長賞	園田 三郎	よしみ	成雌1類
沖縄県農業協同組合西原支店支店長賞	こや 呉屋 秀信	さつき	若雌1類
西原町議会議長賞	園田 三郎	ひさな	若雌2類
西原町農業委員会会長賞	みやぎ 宮城 悟	ようこ	未経産候補
沖縄県農業共済組合長賞	みやぎ 宮城 正信	はあとちゃん	成雌2類
沖縄県畜産振興公社理事長賞	とつばる 桃原 栄一	せそんさま	成雌2類

# まちの話題

## ものづくり競技大会で銀メダル

若者のものづくり日本一を競う「第8回若年者ものづくり競技大会」のフライス盤職種が8月5日と6日に滋賀県で開催され、町在住の宮平裕弥くん（沖縄工業高校2年）が銀メダルを獲得しました。初出場で常連校を抑え、2年生でメダルを獲得するという快挙で、沖縄県勢として初の銀メダルとなります。



ものづくり競技大会で銀メダルを獲得した、宮平裕弥くん（写真中央）

この大会は、職業能力開発施設や工業高校等に通う20歳以下の若者を対象に行われるもので、技能の向上、就業促進を図り、若年技能者のすそ野の拡大を図ることを目的としています。フライス盤職種は、刃物を回転させて金属を加工する機械を使って作品を作る競技で、全国から20名が出場し、作品の精度や隙間の誤差などを競いました。加工の工程や作業配分の検討など、競技前からの準備を経て作品を製作し、銀メダルを獲得しました。

顧問の知念仁教諭は「0.05mm以下の勝負で、時間も限られる中、集中力と計画性が必要。練習時間が少ない中で、工夫して練習していた」と大会を振り返り、宮平くんは「将来はものづくりに関わる仕事に就きたいと思う」と、自信を付けた様子で語りました。

## 石原さんが県指導農業士に認定

地域農業の発展やコミュニティ活動の推進、先進的な農業経営の実践などを旨とする「沖縄県指導農業士」として石原昌春さん（字上原・写真中央）が認定を受け、9月27日に上間明町長へ報告しました。

石原さんは約30年前にキクの生産から農業を始め、現在は約12,000坪の農地でトマトやキャベツなどの野菜を中心に、生産活動を続けています。また、研修生の受け入れにも尽力し、2名の新規就農者を育成してきました。指導農業士は中部地区で26名いますが、西原町では石原さんが唯一の農業士になります。



## ストリートダンス大会の収益をNPOに寄附



西原町中央公民館で活動するストリートダンスサークルの村吉力さん、伊藝匠さん、徳元拓真さんが、障がい者の社会参加や自立を支援する団体のNPO法人さわふじ地域活動支援センターさんさんを10月2日に訪問し、ダンス大会で得た収益の一部を寄附しました。

同サークルは、中央公民館の敷地の一角で自主的にダンスを練習していたことがきっかけで、中央公民館と連携してダンス講座を行った後にサークルを立ち上げて活動している団体です。9月21日に22組が参加したダンス大会「4 UNITY VOL.1」を開催しました。

サークル代表の村吉さんは「ダンスを通じて少しでも地域に貢献できたことが嬉しい。これからもこのような活動を続けていきたい」と、感想を述べました。

## パレードで下水道接続の促進を呼びかける

毎年9月10日の「下水道の日」にちなんで、下水道整備促進の理解と協力を得ることを目的に、9月6日に車両広報パレードが行われました。



このパレードは、西原町と中城村・与那原町・南城市が合同で実施したもので、西原町役場では中継式が行われました。パレード隊を受け入れた上間明町長は「河川や海の環境を守るため、下水道事業は沖縄全体にとって重要な取組。本町では今年度から下水道接続のための補助金制度をスタートさせるなど、接続率向上を目指している」とあいさつしました。

## 琉大公開講座で、排泄について学ぶ

「知って得する健康まちづくり！西原町中央公民館から発信！」と題した健康講演会が、9月5日に西原町中央公民館で開催されました。この講演会は琉球大学が主催したもので、各医療機関に所属する西原町出身の医療従事者9名が、排泄をテーマに講演を行いました。

講演では、なかなか人に相談できない排泄について「運動や食事、生活習慣などを見直すことで解決できる」と説明。



参加者は、排泄にとって重要な骨盤周辺の筋肉を鍛える「骨盤底筋体操」を体験し、健康づくりを学びました。

## 宮城くんが少年サッカー県選抜に選出

ジュニアサッカーチーム、坂田FC所属の宮城勝くん（坂田小6年・写真右）が、第25回九州地域少年サッカートレセンU-12（鹿児島県）に出場する沖縄県選抜チームの一員として、県サッカー協会の推薦を受けて選ばれました。同大会は九州各県の選抜チームと総当たりのリーグを戦うもので、宮城くんは8月23日からの大会に参加しました。



また、西原町人材育成会（上間明会長）が、大会派遣費用の一部を助成しました。